



頂

ちんそう

相

祖師たちの絵姿

Ⅰ期 二〇二四年三月 十七日(日) ～ 五月 十二日(日)
Ⅱ期 五月二十六日(日) ～ 七月二十一日(日)



相国寺承天閣美術館

【概要】

達磨を初祖に仰ぐ禅の教えは師から弟子へ連綿と受け嗣がれ、今にその法脈が受け嗣がれています。

相国寺は、**夢窓疎石** むそうそせき を勧請開山に仰ぎます。その教え、つまり法は鎌倉時代に日本へやってきた**無学祖元** むがくそげん から日本僧、**高峰顕日** こうほうけんいち へ伝えられ、**夢窓疎石** に嗣がれたものです。

法が嗣がれたその象徴として、師の絵姿や袈裟が弟子に渡されます。

その絵姿を頂相といいます。頂相は法を嗣いだ証であるだけではなく、師の回忌法要の際にもかかげられます。夢窓疎石の遺徳を仰ぐ開山忌、二世の**春屋妙葩** しゅんおくみょうは の普明忌などは、今も相国寺の重要な仏教行事として厳修されています。

本展覧会では、法脈を今に伝える頂相を数多く初公開いたします。

相国寺本山と、相国寺の塔頭それぞれに育まれた禅僧の営みを、ご覧ください。

【構成】

第一章 開山忌を莊嚴する頂相

列祖図 三十幅 狩野派 江戸時代 承応四年 相国寺蔵 (I期)
(画像1 達磨 画像2 夢窓疎石)

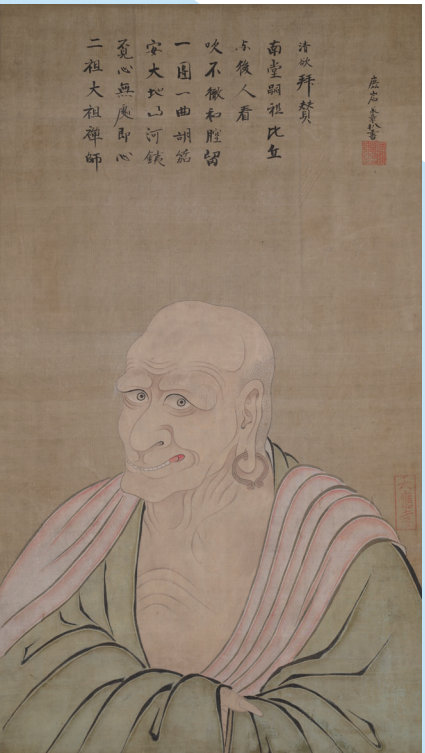


画像 1



画像 2

初公開
列祖図 二十八幅 古筆了佐寄進 承応二年 大應寺蔵 (II期)
(画像3 二祖)



画像 3

第二章 仏教儀礼と頂相

開山堂にまつられる祖師たちと年中行事

無学祖元 むがくそげん 頂相 春屋妙葩賛 伝趙子昂筆 慈照院蔵（Ⅰ期）

高峰顕日 こうほうけんいち 頂相 夢窓疎石賛 慈照院蔵（画像4）

夢窓疎石 むそうそせき 頂相 自賛 相国寺蔵



画像 4

中国の祖師たちとその遠忌

中峰明本 ちゅうほうめいほん 頂相 慈照院蔵（画像5）（Ⅱ期）

雲門文偃 うんもんぶんえん 頂相 雲谷等與筆 相国寺蔵（Ⅰ期）



画像 5

第三章 相国寺の門派と塔頭に伝来する頂相

大智派

重要文化財 春屋妙葩しゅんおくみょうは頂相 慈照寺蔵（画像6）（I期）



画像6

常德派

空谷明応くうこくみょうおう頂相 大光明寺蔵（I期）

西笑承兌せいししょうじょうたい頂相 大光明寺蔵（二幅、展示替あり）

勝定派

絶海中津ぜつちゅうかいちゅうしん頂相 鹿苑寺蔵（雲興軒旧蔵）

惠林派

初公開 太岳周崇たいがくしゅうすう頂相 相国寺蔵

慶雲派

緜谷周賤めんこくしゅうてつ頂相 瑞溪周鳳賛 相国寺蔵

蔽中周噩墨蹟 緜谷字偈／瑞溪周鳳墨蹟 緜谷和尚行状 相国寺蔵

慈照派

初公開 在中中淹ざいちゅうちゅうえん頂相 慈照院蔵（I期）

一山派

太清宗渭たいしんそうい頂相 瑞春院蔵（II期）

第四章 禅僧の出世と頂相―听叔顕暲、鳳林承章を例に

初公開 听叔顕暲きんしゅくけんたく頂相 慈照院蔵（五幅、展示替あり）

初公開 西笑承兌書状 鹿苑寺蔵

鳳林承章ほうりんじょうしょう頂相 鹿苑寺蔵（三幅）

隔莫記 鳳林承章筆 鹿苑寺蔵

第五章 祖師の遺品

初公開 袈裟観中中諦所用（I期）

【みどころ1】二つの列祖図 相国寺の三十幅（Ⅰ期）と大應寺の二十八幅（Ⅱ期）

禅宗の歴代の祖師を描いた列祖図が、相国寺派に複数伝来しています。そのうち、相国寺本山に伝来する列祖像三十幅をⅠ期に、そしてⅡ期には初公開、大應寺伝来の列祖二十八幅を展示いたします。相国寺の列祖像は承応四年（一六五五）の内裏造営の際に障壁画を担当した狩野派の絵師が、相国寺を絵所とした縁で制作を依頼したものです。一方の大應寺の列祖像は承応二年（一六五三）に古筆了佐が大應寺に寄進したもので、当時の相国寺や大徳寺の和尚が着賛をしています。同時代の二組の列祖像を、今回の展覧会で楽しんでいただけたら幸いです。

【みどころ2】頂相を描く禅僧たち

頂相には、絵姿の上部に賛文がともなうものが多く、着賛者が誰か、そして誰に与えたのか、といった情報が込められています。今回は**昕叔顯暲**きんしゅくけんたう、**鳳林承章**ほうりんじやうしやうといった十七世紀に活躍した禅僧の複数の頂相を展示し、禅僧の頂相がいつ、どうして描かれたのかを探ります。一方で、絵姿を描いた絵師については、一部の頂相にのみ**落款印章**が確認されるものの、絵師がわからない作品も少なくありません。ただ、江戸時代の頂相において、**絵姿を描く人物が文室宗言**ぶんしつそうげん（相国寺法住院第九世）や、**維明周奎**いめいしゅうけい（相国寺第一一五世）ら、相国寺派の禅僧である場合、その痕跡が本紙や箱書によって判明するものも多く伝えられています。中世には**周文**や**雪舟**らを輩出した相国寺で、江戸時代に活躍した画僧たちの画技をご覧ください。

【みどころ3】 相国寺の復興と頂相制作

相国寺の**第一世**であり、鹿苑寺や慈照寺の勸請開山でもある**夢窓疎石**むそうそせきの頂相は、相国寺本山や塔頭に複数伝来しています。その成立が中世に遡るものも複数ありますが、江戸時代に入って新たに制作された頂相も多く伝来します。今回は、**狩野派**、**住吉派**などに属する職業絵師たち、そして相国寺の画僧による頂相など、本山や塔頭に伝来する夢窓疎石の頂相を複数公開いたします。また、Ⅱ期には**中峰明本**ちゅうほうめいほんの中国元時代製作の頂相から近世相国寺で制作された頂相まで複数ならべて公開いたします。同じ禅僧の頂相でも絵師によって異なる細かな**差異**を比較していただけましたら幸いです。

夢窓疎石むそうそせき頂相 住吉具慶筆 林光院蔵



末葉比丘顯堂拜書
帝師和尚真讚
日本七朝
唯現半身
分明莫言
娘生面目
鼻下有脣
眉底有眼

開催情報

I 期 2024 年 3 月 17 日（日）～ 5 月 12 日（日）
II 期 2024 年 5 月 26 日（日）～ 7 月 21 日（日）
休館日 2024 年 5 月 13 日（月）～ 5 月 25 日（土）
開館時間 10 時～ 17 時（入館は 16 時半まで）
拝観料 一般 800 円
65 歳以上・大学生 600 円
中高生 300 円、小学生 200 円
※一般の方に限り 20 名様以上は団体割引で各 700 円
主催 相国寺承天閣美術館
協賛 一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

イベント

◆ I 期記念講演会
2024 年 3 月 23 日（土）14 時～ 15 時半
講師：立畠敦子氏（出光佐三記念美術館 主任学芸員）
「禅僧の肖像画 頂相・列祖図」
◆ II 期記念トークイベント
2024 年 6 月 8 日（土）14 時～ 15 時半
講師：西村俊廣氏（頂相画家）「頂相とキュビズム」
場所 当館 2F 講堂（開場 13 時半）
※各回定員先着 80 名様
◆ 講座
I 期 2024 年 4 月 27 日（土）14 時～ 15 時半
「相国寺の年中行事の荘厳と頂相」
II 期 2024 年 7 月 20 日（土）14 時～ 15 時半
「頂相が制作される時—近世前期を中心に」
担当：当館学芸員 本多潤子
場所 当館 2F 講堂（開場 13 時半）
※各回定員先着 80 名様
◆ ギャラリートーク 14 時～ 14 時半
I 期 4 月 6 日（土）、5 月 4 日（土）
II 期 6 月 1 日（土）、7 月 6 日（土）
担当：当館学芸員 本多潤子
場所：展示室
※各イベントには当日の拝観券が必要です。

 **相国寺承天閣美術館**
SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM
〒602-0898
京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL:075-241-0423

アクセス

▶ JR 京都駅より
京都市営地下鉄今出川駅下車
3 番出口から徒歩 8 分
▶ 阪急電車烏丸駅より
京都市営地下鉄今出川駅下車
3 番出口から徒歩 8 分
▶ 京阪電車出町柳駅 3 番出口より
徒歩 20 分、または市バス
▶ 市バス 59、201、203 号系統
同志社前下車 徒歩 6 分
▶ 市バス 102 号系統（洛バス）
烏丸今出川下車 徒歩 8 分

報道関係者様お問い合わせ先

相国寺承天閣美術館 PR 事務局（TM オフィス内）
担当：馬場・西坂・永井
MOBILE：090-6065-0063（馬場）
090-5667-3041（永井）
TEL：050-1807-2919
FAX：06-6231-4440
E-mail：shokokuji@tm-office.co.jp
〒541-0046
大阪市中央区平野町 4-7-7 平野町イシカワビル

